



NEW STAFF

新人自己紹介

2016年7月1日着任

近藤 未菜子

こんどう・みなこ

協奏分子システム研究センター

階層分子システム解析研究部門 特別協力研究員



イーストアングリア大学で学位を取得後、ペンシルベニア州立大学博士研究員、日本学術振興会特別研究員、お茶の水女子大学特任講師を経て7月から特別協力研究員として古賀グループに勤務しております。これまでは励起状態の反応ダイナミクスの研究を行ってきました。今後は新たに生化学実験の手法を身につけ研究室へ貢献したいと思います。

どうぞよろしくお願い致します。

2016年8月1日着任

甲田 信一

こうだ・しんいち

理論・計算分子科学研究領域

理論分子科学第一研究部門 助教



2015年4月より齊藤グループの博士研究員として分子研に所属しておりましたが、2016年8月より助教として改めて着任いたしました。自然現象に内在する階層性に関し、各階層の関係性、階層性由来の物性・機能の発現機構、また、その背後に潜む数理科学的構造に興味があります。現在は時計タンパク質の分子機構を研究しています。どうぞよろしくお願いたします。

2016年8月1日着任

川口 玄太

かわぐち・げんた

協奏分子システム研究センター

機能分子システム創成研究部門 特任助教



2016年3月に京都大学博士後期課程を単位取得退学し、4月より山本グループの研究員としてお世話になっておりましたが、学位取得に伴い、8月より特任助教を務めさせていただくこととなりました。有機強相関物質を用いたデバイスについて研究を行っています。どうぞよろしくお願いたします。

2016年8月1日着任

竹内 嵩

たけうち・たかし

理論・計算分子科学研究領域

理論分子科学第一研究部門 特任研究員



日本大学で学位を取得後、日本大学理工学研究所研究員を経て、8月1日より信定グループの特任研究員として着任いたしました。これまでの研究では、電磁界と量子系の相互作用を対象とした複合物理解析コードの開発およびその応用を行ってまいりました。現在は量子系が生成する近接場について研究しております。

どうぞよろしくお願いたします。

2016年8月1日着任

小出 明広

こいで・あきひろ

物質分子科学研究領域

電子構造研究部門 特任研究員



平成27年度に千葉大学で日本学術振興会特別研究員(DC2)を経て学位を取得後、平成28年4月から7月まで日本学術振興会特別研究員(PD)として分子研の横山グループに所属し、8月から同グループの特任研究員として着任致しました。これまでの、X線吸収分光法における理論研究を行って来ましたが、現在は強磁性体や光触媒などのX線吸収スペクトルの解析に取り組んでいます。どうぞよろしくお願いたします。

2016年10月1日着任

MEISSNER, Matthias

光分子科学研究領域

光分子科学第三研究部門 IMSフェロー



I studied physics at the Friedrich Schiller University Jena, Germany, and received my doctoral degree (Dr. rer. nat.) in Jena in September 2016 for studies on the epitaxy of organic layers, including methodological improvements of the analysis of electron diffraction and scanning tunneling microscopy measurements. In October 2016 I joined the IMS as a research fellow with Prof. Dr. Satoshi Kera and aim at expanding my knowledge on the field of photoelectron spectroscopy on organic thin films.

2016年10月1日着任

後藤麻子

ごとう・あさこ

研究力強化戦略室（国際研究協力課 併任）
特任専門員



製薬メーカーの研究所にて感染症薬の探索・開発研究に携わったのち、平成19年3月に学位（農学）を取得しました。国内外研究機関での研究員を経て、平成26年10月より特任専門員として国際研究協力課に勤務しております。本年10月より、研究力強化戦略室併任となりました。皆様の研究活動を応援したいという気持ちで、日々取り組んでおります。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

2016年10月12日着任

SUN Zhengyi

孫正義

光分子科学研究領域
光分子科学第三研究部門 国際協力研究員



I received my Ph.D degree on condensed matter physics from Fudan University, China, in June 2011. After that, I went to Sweden and did the postdoctoral research in Linköping University. Since April 2015, I work in Nanjing Tech University. And in October 2016, I joined Prof. Kera's group as the visiting scholar. My research is centered on the surface science investigation on organic functional materials by photoelectron spectroscopy as well as their applications in organic electronics.

アウトリーチ活動

山本グループが指導協力した坂部 圭哉さん（海陽中等教育学校）が 第48回国際化学オリンピックで金メダルを受賞

この度、「第48回国際化学オリンピック・ジョージア大会」日本代表ヘッドメンター・前山勝也先生（山形大学）より依頼を受け、2016年6月からの5日間に渡り山本グループにて日本代表生徒の坂部圭哉さん（海陽中等教育学校5年）の実験指導を行いました。国際化学オリンピックとは、世界約60か国から200名以上の高校生が参加し、実験問題と理論問題によって化学の実力を競う大会です。成績優秀者には金メダル（参加者の1割）、銀メダル（同2割）、銅メダル（同3割）が授与されます。

日本代表高校生の指導ということでプレッシャーを感じつつも、日本で有数の実力を持つ高校生を指導できることへの楽しみを感じながら、実験指導を引き受けさせていただきました。出題される実験や理論問題は大学レベルから中には大学院レベルと思われるものも含まれており、非常にハイレベルなものです。前山先生からは事前に「生徒たちは高校では実験訓練がほとんどできず、例年、実験問題が日本代表の弱点になっています。」とのお話を伺いました。本番では、5時間で3種類の異なる実験問題が出題されるため、実験精度やデータの理解はもちろん、手際の良さやスピードも求められます。何よりも「実験慣れ」が大切になってくるだろうと感じましたので、本番を想定し、複数の実験を同時に行いながらのトレーニングを何度も繰り返しました。わずか5日間の指導ではありましたが、実験技術はみるみる上達していき、高校生の吸収力の高さに大変驚かされました。

迎えた7月の本大会、坂部さんは見事、金メダルを受賞しました。坂部さんの能力の高さは指導を通じて十分すぎるほど感じていましたので驚くことはありませんでしたが、世界中からトップの高校生が集まる中、高校2年生での金メダル獲得は快挙だと思います。本当におめでとうございます。坂部さんは、来年度に行われる「第49回・タイ大会」の日本代表候補にも選ばれていると聞いています。2年連続の金メダル獲得へ向けて、来年度も最大限の協力が出来ればと思っています。

（須田 理行 記）

